

2021年度有峰蛾類分布調査-2

報告：霜鳥 智也

編集：田島 敏美

【実施日時】 5月19日19:00～5月20日2:00

【天候】曇り(濃霧) 【気温】16℃～13℃

【月齢】大潮 (1.3→2.3)

【実施方法】灯火採集法(ライトトラップ)

有峰は、ブナやミズナラが分布している標高1000m～1300mの高原盆地です。

有峰で記録された蛾類の種類は24科931種で、確認された最大の科はヤガ科の340種です¹⁾。5月13日～14日に引続き5月19日～20日に第2回目の蛾類分布調査を実施したので報告します。濃霧が発生する中のライトオンになりました。霧が出ると光が乱反射し、昆虫が集まってくるとされています。飛来した蛾類の一覧表を表示します。

飛来した蛾類の同定は、日本産蛾類標準図鑑他を参考に実施しました^{2)～4)}。有峰に分布するヤマユガ科は、オオミズアオ、オナガミズアオ、ヤマユガ、ウスタビガ、クロウスタビガ、クスサン及びヒメヤマユガの8種が知られています¹⁾ 今回の調査ではヤマユガ科8種のうち、オナガミズアオとエゾヨツメの2種が比較的早い時間帯に飛来しました。シャチホコガ科は65種が同定されています¹⁾。シャチホコガ科では、ヤスジシャチホコ、ブナアオシャチホコ、シャチホコガなどが飛来しました。ヤガ科は既に340種が同定されています¹⁾。スギタニキリガ及びミヤマゴマキリガが飛来しました。シャクガ科は既に225種が確認されています¹⁾。シャクガ科では、エグリヅマエダシャクとムラサキエダシャク他7種(未同定)が飛来しました。スズメガ科ではクロハウジャクが飛来しました。蛾種も早春から初夏にシフトしつつあります。今後も有峰に分布する寄主植物(食樹)との関係も含め、蛾類の分布調査を継続していきます。

【引用文献】

富山県昆虫同好会編：有峰の昆虫相/有峰の自然別冊(昭和56年7月)

岩田泰則著：日本蛾類標準図鑑ⅠⅡ/学研

岩田泰則他著：日本のヤマユガ/(有)むし社

小林秀則紀編：日本の冬夜蛾(キリガ)/(有)むし社

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
ヤマユガ	オナガミズアオ	♂ 1	20:00
	エゾヨツメ	♂ 2	19:30～20:00
シャチホコガ	ヤスジシャチホコ	♂ 1	20:30
	ブナアオシャチホコ	♂ 4 ♀ 2	20:00～23:30
	シャチホコガ	♂ 2	20:30～22:00
	種未同定3種		20:00～23:00
ヤガ	スギタニキリガ	♂ 2	20:00～23:00
	ミヤマゴマキリガ	♂ 1	21:00
シャクガ	エグリヅマエダシャク	♂ 6 ♀ 2	20:00～22:30
	ムラサキエダシャク	♂ 1	21:00
	種未同定8種		20:00～23:00
スズメガ科	クロハウジャク	♂ 1	20:30



点灯後のライトトラップの様子



飛来したエゾヨツメ♂



飛来したエゾヨツメ



飛来したオナガミズアオ♂



飛来したエグリヅマエダシャク



飛来したクロハウジャク



飛来したシャクガ類の一種



飛来したシャチホコガ♂